

10月号

School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



Dream通信

2012. 10. No. 55

年間成績の結果とMVP

~昨年度を振り返り、今年度の活力に~



センターホール手前の通路に貼り出しています



MVPのパーリー(左)とチャンター(右)

- 1年生 ブーン・チョック
- 2年生 タン・ヴィセツ
- 3年生 ユン・サイハー
- 4年生 ドン・スレイネツ
- 5年生 フン・パエット
- 6年生(同順位のため2名)
フン・ポム ホン・チャンター
- 7年生 ブーン・マイ
- 8年生 ロン・ヴィラー
- 9年生 ルム・レーンヒアン

皆さんこんにちは。日本では暑さがだんだん落ち着いてきた頃でしょうか。こちらカンボジアでは夜は冷えてもまだまだ昼の暑さはじりじりと厳しいものです。

さて、今回のDream通信では、昨年度の年間成績優秀者とMVPについて、そして裏農園で行っている子どもグループ農業での収穫について、また来月から稼働させる『夢追う子どもたちの家』生徒会発足のために行った子どもたちのミーティングについてお伝えします。

年間優秀者・MVP

カンボジアの学校は、二期制です。10月から2月までが前期、3月から7月までが後期になります。それに伴って、学期毎の成績は、子どもたちも非常に気になることのひとつです。園では、学期毎に出た成績の優秀者と、学期毎のMVPを、センターホール手前の通路に貼り出しています。今回、8月末に昨年度の年間成績が全て出揃いましたので、成績優秀者が発表されました(下図)。各学年、優秀者の写真とその感想、今後の抱負が貼り出されています。

今回のMVPには、昨年度中学2年生だったクオイ・チャンターとスローン・パーリーの2名が選ばれました。この2人は、元々勉強が苦手で、何が分からないのかも分からない状態でした。特に物理は、公式も覚えられず、一番の不得意科目でした。しかし、その状態をなんとか挽回しようと、職員との約束で、毎日夜11時まで勉強することを決めました。毎晩眠い目をこすりながら、時には保母担当に起こされながら、必死に勉強を頑張りました。夜勉強する分、昼間は眠そうにしていたのですが、何度も顔を洗って目を覚まさせ、授業に取り組んでいました。自習時には、友達に助けてもらい、何度も説明してもらい、問題を出してもらいました。成績はまだあまり変化がありませんが、内容が理解出来、何が分からないのか説明出来るようになりました。教えている友達も、「最初は全く出来なかった二人が、問題が出来るようになり、嬉しい。」と言ってくれました。

10月からは、中学3年生になる2人。来年の7月には卒業試験があります。その結果次第で、高校に行けるかどうかが決まる、大事な試験なので、どうにか頑張りたいと思います。



おいしく食べました！

収穫祭

今年の1月から始めたグループ農作業。一時は作物を牛に食べられ、落ち込んでいた子どもたちですが、心機一転、今度は広大な土地を相手に、様々な野菜を育て、現在、裏農場は緑が広がる大農園になりました。

その中でも、子どもたちが一番楽しみにしていた作物、とうもろこしの収穫をしました。収穫し、ポイルし、皆念願のとうもろこしを食べれる日には、顔が緩みっぱなしです。昼食後のデザートに出てきたとうもろこしは、一人分ずつまとめられ、何と一人3本もありました！ご飯を食べた後に3本も食べられるのか、との心配をよそに、ある子はガツガツと自分の分を食べ終え、余ってる子がいないか探しています。またある子は、ゆっくりと味わって食べながら、友達に取られないように必死です。

今回の収穫は、今までで一番の量でした。収穫の喜びを噛み締め、園を出た後は自分たちが家族の中心となって、家族の家計を助けることが出来るように、日々学んでいって欲しいと思います。



生徒会の内容、目的等を全員に共有

生徒会

園内の運営に関して、今までは職員が中心になり、問題発見から解決までを考え、決定事項を子どもに伝達する、という形を取っていました。しかし、子どもも大きくなってきて、そろそろ運営することの難しさ、大変さを知り、今後の社会活動に活かして欲しいと考え、生徒会の発足を企画しました。

生徒会は、まず、子どもたちが中心となって物事を決めること、自分たちで解決出来ることは自分たちで解決すること、企画発案から実施まで、きちんと遂行する能力をつけること、人をまとめる力をつけること、プレゼン能力をつけること、など様々な意図があることを子どもたちに伝え、その上で、今自分たちの中で誰が一番適任か、を投票によって決めました。

その結果、生徒会長は中学3年生のチョム・サルーン(男)、副会長は共に高校1年生のハイ・トール(男)とルム・レーンヒアン(女)の3名に決まりました。この3名と職員とで話し合いを行い、清掃委員長、衛生委員長、自転車委員長、機械修理委員長、農業委員長、備品管理委員長、イベント委員長などを決めました。その委員長たちと、今度はその委員が行う作業について、また、副委員長についてなど、詳しく決めていきます。

カンボジアの学校でも学級委員があり、生徒会もあります。しかし、学校で行うよりもはるかに幅広い分野での作業があり、責任も大きくなってきます。「問題を発見し、解決すること、やり始めたことは最後までやり遂げること、自分の考えを理論立てて相手に説明すること」を覚え、さらに人をまとめる、という難しい役をこなし、将来、仕事を始めた時に大いに役立てて欲しいと思います。



会長、副会長が今後の抱負を発表

生徒会長チョム・サルーンの今後の抱負

「皆さん、今日は、僕を生徒会長に選んでくれてありがとうございました。生徒会長第一号で、まだまだ分からないことだらけですが、皆さんの期待に応えられるよう、一所懸命、この園を良くするために努力したいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。」